

商 工 会 報

あ ち

第 17 号

発行 阿智村商工会
43-2241

編集 会報編集委員会

印刷 龍共印刷(株)



新春講演会

経済大国日本は 政治改革が急務！

新堀俊明氏

本年度新春講演会は、久々の大雪の中、一月十六日に行われました。「経済大国日本の役割を考える」と題し、TBSニュースキャスターの新堀俊明氏を迎えて、世界の中心の日本を語っていただきました。

思いがけぬ豪雪に見舞われ開催時間も一時間程遅れましたが、「独断と偏見も入れた話を」と前置きされ、新堀流のもの静かながら熱のこもった講演を、二時間余り、皆熱心に聴講しました。

以下内容を掲載します。
「一九八〇年頃から始まった世界の変化は昨年末から、想

像もしなかったような劇的な変化により、東欧、ソ連が社会主義経済システムから、資本主義経済システムに移るいわゆるペレストロイカが実施された。

二十一世紀は、米ソ二極時代から多極化され、欧州・中国・日本も加わって五極時代が予想される。



講師の新堀俊明氏

今や日本の軍事費は米、ソに次いで世界第三位といわれている。このような経済大国日本の今後の責任について、経済面では、先進国との協調をとりながら、後進国への援助を行わなくてはならない。日本経済は今まで相手を傷めながら発展してきた。これからは金のみでなく思いやりの気持ちを持った援助が必要である。又科学・技術・文化面においては、人真似でなく、独自発想のものを開拓するよう心掛けなくてはならない。最後に国内問題では、何としても、住宅・物価・労働時間の三つの問題を解決することが最も重要である。これには先づ政治改革が必要である。国外でも一党支配の時代は終わった。今までの日本を活性化させながら持続するのには、日本の政治改革が急務である』と結ばれました。

信金だより

拡大する

産直宅配便

地方の特産物を宅配便ルートに乗せて販売する産地宅配便は、後発の宅配便業者が先発企業との差別化を図るために始めたのがきっかけとなって昭和五十八年から宅配便各社の参入が相次いでいます。

消費者ニーズの多様化・個性化の進展を背景として、食品の安全性や新鮮さに対する要求の強まり「グルメ志向」が、こうした産地宅配便に対する需要を支えているといっても良いでしょう。

また、地方にも特産物の販売を通じて地域振興に資するというメリットを与えることとなります。最近では、そういった意味あいから、ふるさと宅配便など、地方自治体・郵便局などが仲介する方式も広がっています。

当金庫では四月の一月間「グルメ積金」加入していただいた方に積立期間中六回にわたって産地直送品をお届けする仕組みのお取扱を致します。

いよいよ飯伊地方は戦国時代

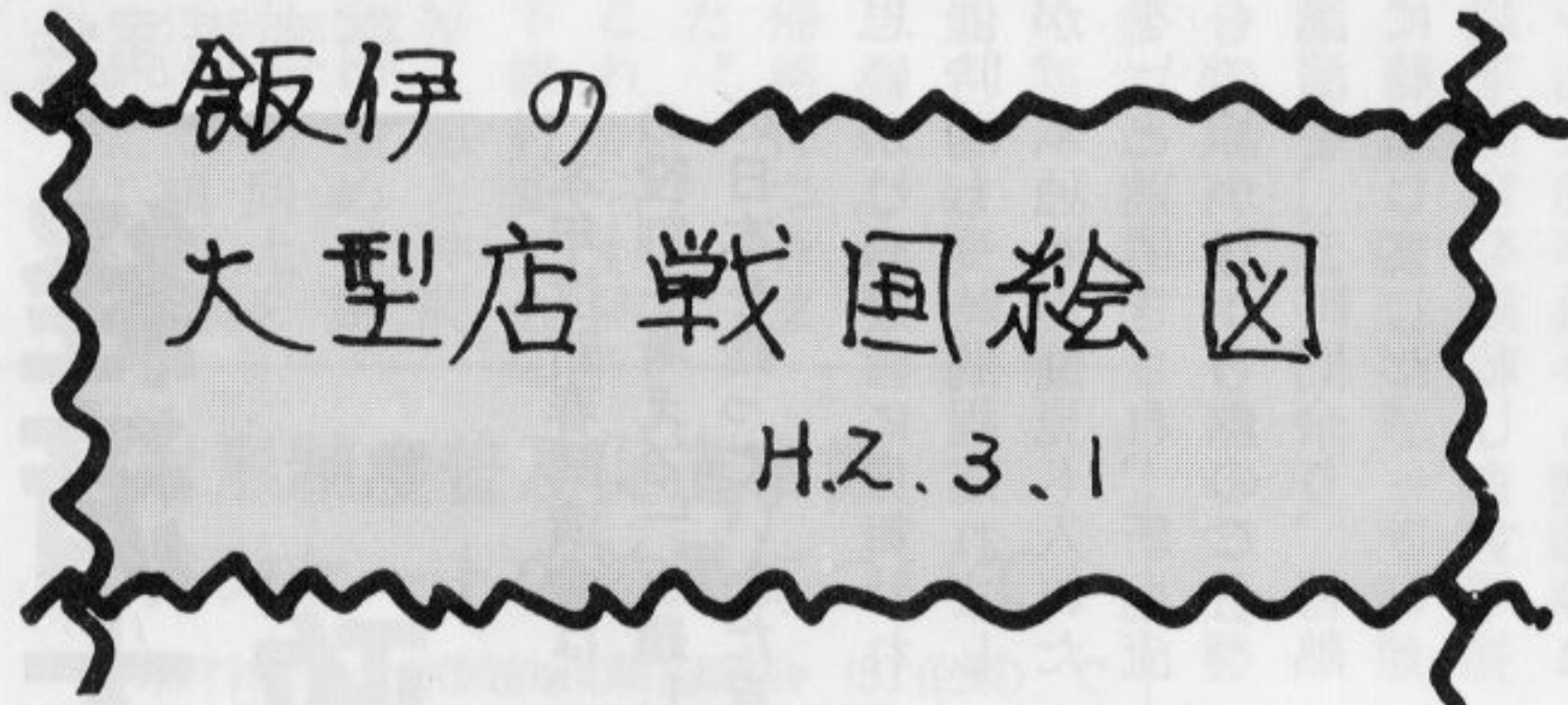
90年代に入り、飯伊地方も小規模小売業者にとっては、厳しく、かつ不安な情勢下になってきました。続々と、大型店がアップロード添いに新店計画を表明しております。

現在は、大規模小売店舗法という法律が定められており店舗面積が500㎡以下、一、五〇〇㎡未満を第二種小売店舗、一、五〇〇㎡を超えるものを第一種小売店舗と決められ、大型店の出店も、この法律によって、かなり規制されてきました。

しかし、昨今の「経済大国日本」への風当りは強くアメリカとの貿易摩擦・貿易不均衡の余波を受け、市場開放や日本の産業政策にもクレームが付き、特に、日本の商慣習にも反発が強く、この大規模小売店舗法撤廃の要望もあります。

その中で、今後、大型店の規制が緩和される事は、間違い無いと思います。そうしますと、力のある大型店は、出店に益々拍車を掛けてくるでしょう。

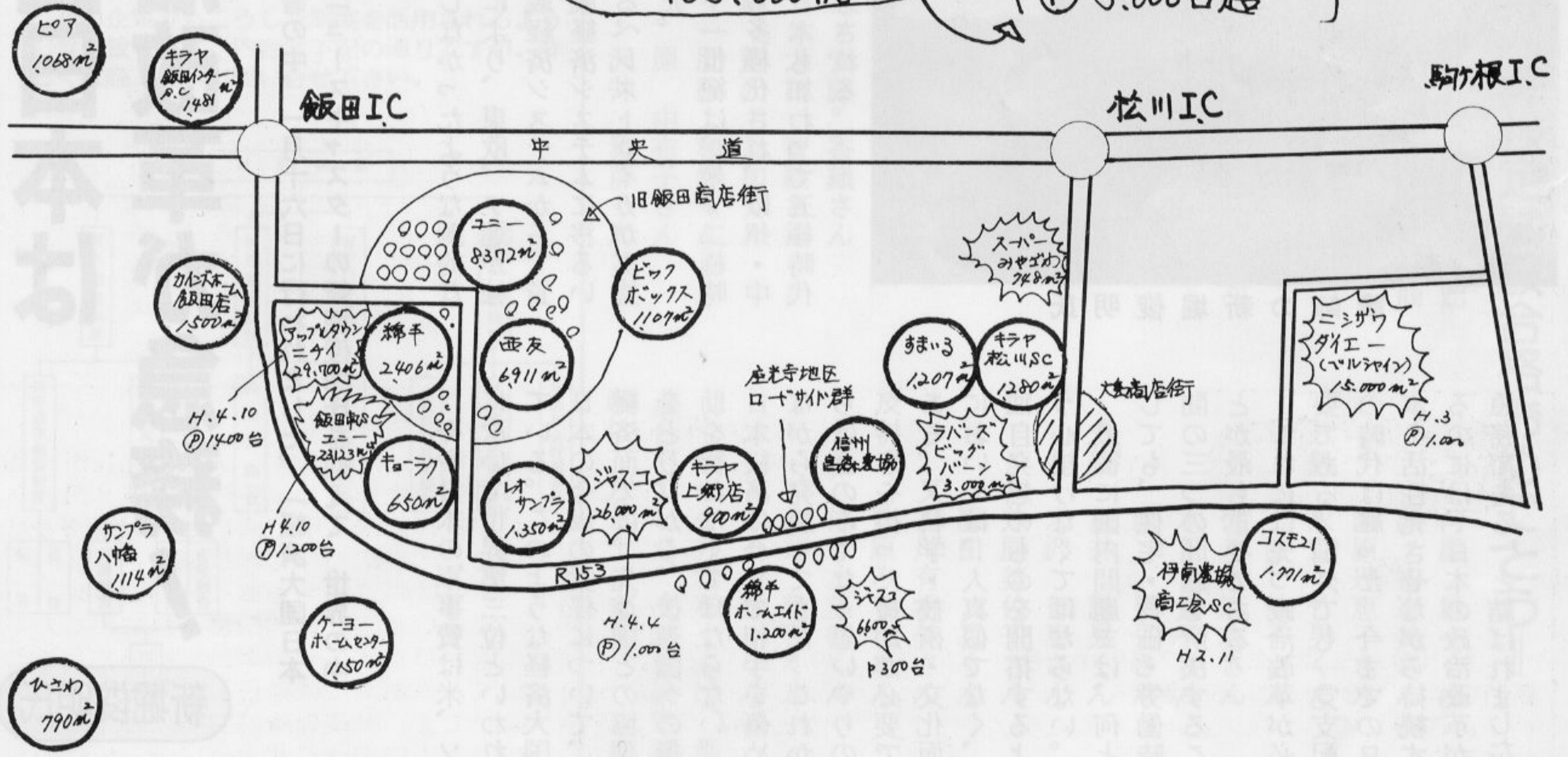
当飯伊地方にも、その兆しがアップロード沿いに表われています。会員の皆様も、他町村の事と考えず是非一考して下さい。



阿智村商業の状況
小売業 79店 4,025㎡
飯田下伊那合計 2834店 157,320㎡

☆印7店の出店計画
103,000㎡

阿智村の25倍
飯田下伊那の65%
◎5,000台超



お願いします

**第二・第四土曜日が
三月から閉所**

最近、官公庁の土曜閉庁の実施が普及され、全国連、県連からもこの導入について積極的に取り組むよう指導がありました。二月から既に全国連・県連共実施をしておりますが、こうした社会環境の変化もあり、当商工会としても去る二月九日の理事会に於てご検討いただき、三月（三月十日第二土曜日）から実施することになりました。

商工会事務所閉所により、会員の皆様にはご不便をおかけすることがあるかと思いますが、ご理解ご協力をお願い致します。

**汐干狩参加者
募集中**

商工会では初めての企画の家族慰安会「汐干狩」を3月25日（日）に実施申し込み受付中です。希望の方は19日迄に事務局迄ご連絡下さい。多数の場合は先着順で切らせていただきます。

シリーズ 我が家の秘蔵写真 第七回

ほていや薬店さんは、元禄時代より続き、当地で最初染物屋を始め、その後何時頃から分らないが造り酒屋を営んでおりました。

先代が、中津川の薬種問屋「備前屋」で修業して、現地に明治三十三年薬種商を創業されました。

写真は、昭和二十五年冬の店舗風景です。

看板には、「度量衡計量器販売」「指定農薬登録小売店」「乳製品登録小売店」の文字が入っております。薬の販売だけでなく関連する物も売っていたそうです。

「度量衡計量器販売」は、許可がないと販売できず、量・重さ・長さ・大きさを計る

物で、体温計・寒暖計とともにマス・ハカリ・モノサシ・金尺等を今も商っております。

「指定農薬登録小売店」とあるのは、現在でこそ、農協や肥料店で売られておりますが、当時農協は、生産活動だけであったので、こういった指定店の許可を得て、農薬の販売を行っていました。

また、「乳製品登録小売店」は、育児用のミルクの販売も許可制で、一斗缶の粉ミルクを量り売りしていました。当時は物資も少なく、特に甘い物が無く、横流しを防ぐ為にこの様な許可制度がとられたそうです。

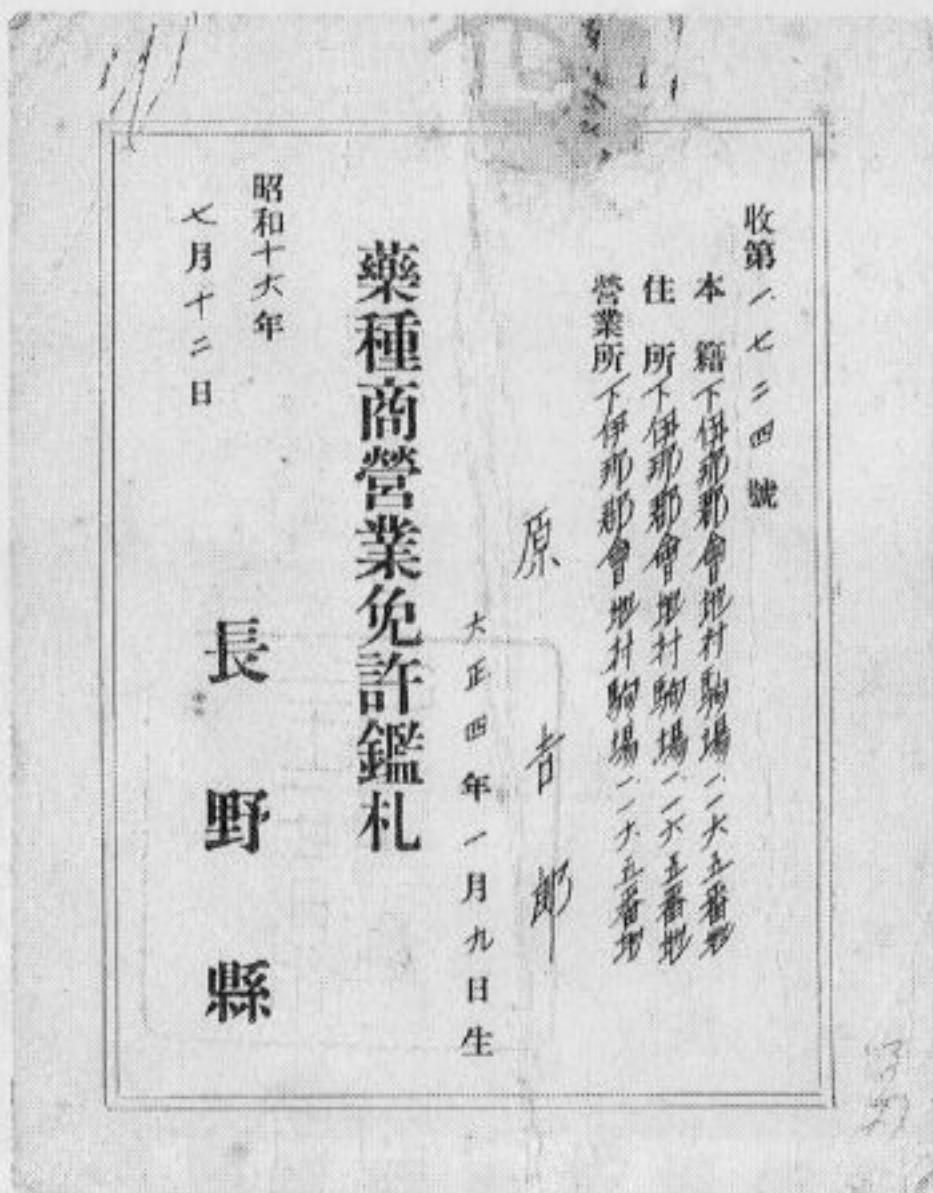
店舗入口には、マツバ染という染料の看板が出ています

が、現在の頭髪を染めるのでは無く、色がさめた生地や毛糸・白地を、家庭で染めて再利用していました。使い捨ての現在、もう一度考える必要はないでしょうか？

当時は、病気になるお客様様が容体を主人と相談して、それに合った薬を販売しておりましたが、現在では、健康保険制度が完備され、病気になるたら医者へ行くので、予防薬として、副作用の無い漢方薬や健康維持のドリンク剤保健薬が良く売れているそうです。特に、マスコミの影響もあって、薬品名柄を指定して来るお客さんが多いそうです。



昭和25年頃のほていや薬店



昭和十六年の営業免許

企業探訪

No.15

(株) 清 風 苑

2月中旬、みぞれまじりの雨の中、事務所で頻繁にかかって来る電話に、テキパキと応待している社長さんにお話を伺いました。

《代 表 者》 代表取締役社長 塚田 弘一

《創 業》 昭和50年5月

《資 本 金》 5,000万円

《従業員数》 男8人 女15人 (村内在住者8名)

《施設内容》 収容人員150名
庭園水車風呂、うたせ湯
(本年 露天風呂設置計画中)

当社は、昼神温泉湧出後、当時商工会長であった現社長さんが、村外資本が流入して来る前に、なんとか地元の資本で旅館づくりをという周囲の声に押されて、村商工業者に呼びかけ、また、自から旅館経営づくりをした



のが(株)清風苑です。

業績も、每期着実に前年対比15%~20%の実績を伸ばし、平成元年度8月、9月期決算の法人申告所得も飯田税務署管内で12番手につけております。

従業員への定着率も良く、創業以来14・15年という長い期間勤務されている方も5人おります。平均勤務年数も約8年と長く、旅館業では珍らしく移動の少ない会社です。社長自身のお考えの中にも従業員との壁を無くすようにと、毎年恒例の2泊3日の旅行や、日帰り旅行で親睦を深め、日常業務でも食事やお茶も一緒にまた事務所へも、従業員が気軽に入れるような雰囲気づくりが、定着率を高めているのでしょう。

こういった事の積み重ねや、社長自らが働く事によって、昨今の人手不足の手助けとなっているのでしょうか。

今後は、会社のモットーでもある、「お客様への尊敬と親切なもてなし」を念頭におき、現施設の増築をして業績を伸ばしてゆきたいと、抱負を語っていただきました。

婦人部
研修

昔の主婦はさしすせそ、今はかきくけこ

征矢 かつ子

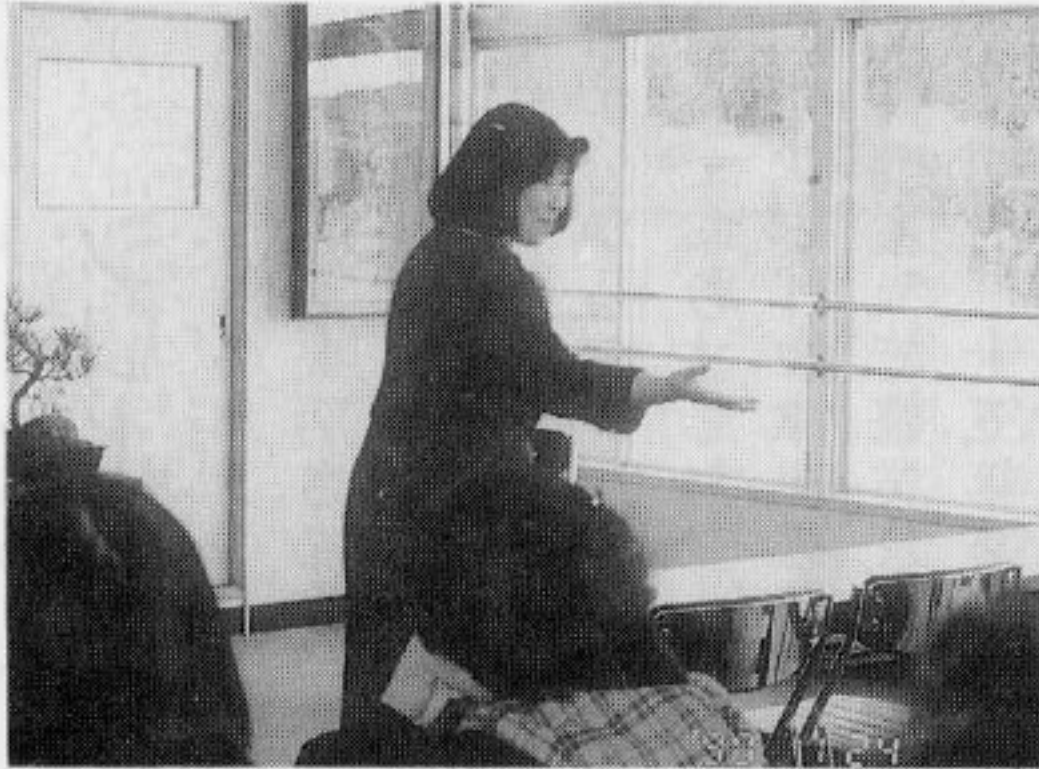
一月二十四日、平成元年度の婦人部事業で、最も大きい下條婦人部との合同研修会が行われました。

研修会テーマは、『人間関係と話し方、聞き方』と題して、講師に、話し方マナーズインストラクター早川公子先生を迎えて、二時間にわたり有意義に研修しました。

内容を紹介しますと、昔の主婦は、さしすせそ。今は、かきくけこ。

- 縫け事濯除 事養夫濟際
- 裁し炊洗掃 家教工経交
- さしすせそ かきくけこ

と、婦人も社会参加と共に、教養を身につけ、政治にも婦人の意見が尊重される現在、



ジェスチャーたっぷりの早川公子先生

物が豊で、恵まれた毎日を送っているが、ともすると忘れかけている人間としての思いやり、笑顔に包まれた家庭づくりが心掛けていきたいものです。

それが二十一世紀へ向けての次の世代を受けつぐ子供達への教育であると思います。

下條村商工会館で研修を終えた後、親田高原のしらさぎ荘へ会場を移し、部活動についての話し合いを行い、懇親会では、カラオケ・舞踊等々盛り上る中、おいしい五平餅の夕食をご馳走になって解散となりました。

今年は昨年にも増して大勢

の参加があり、外の寒々とした雪景色とは違って、温い心もちで帰路につきましました。これからも隣村下條村商工会の婦人部と仲間意識を強め、婦人部活動向上を目ざして頑張りたいと思います。

珠算検定試験合格おめでとう

二月十八日(日)商工会館において、第八十四回全国商工会珠算検定試験を行いました。

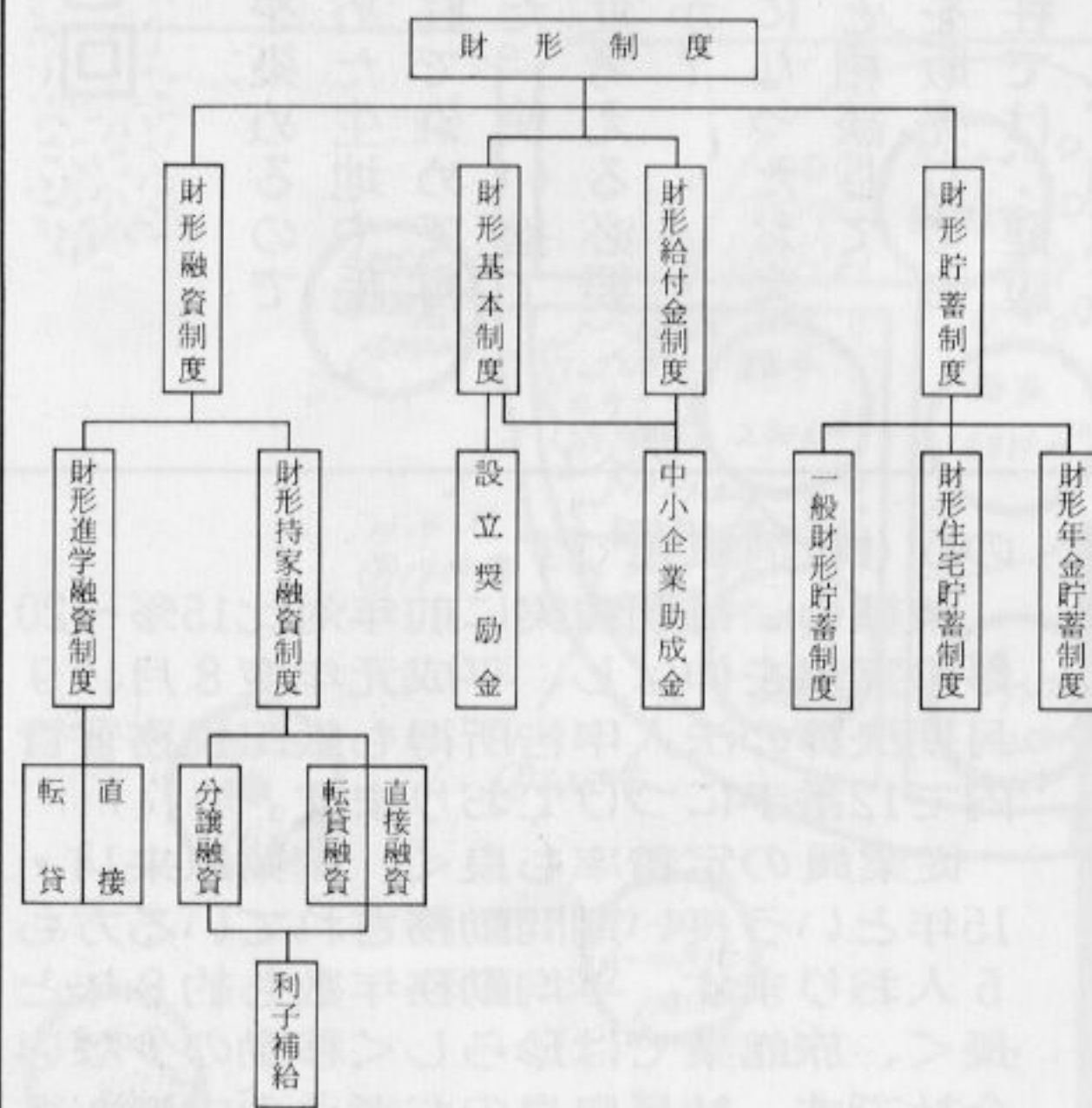
今回の受験者は百五名、合格者は三十名、合格率は二八・六%でした。合格者は次のみなさんです。

- 二級 上原 志信さん
- 増井 貴弘くん
- 佐々木忠志くん
- 小笠原史恵さん
- 宮嶋 淳くん
- 林 史恵さん
- 田原 宏樹くん
- 安藤 香織さん
- 太田 智絵さん
- 芦沢 友和くん
- 肥後 和好くん
- 原 由布子さん
- 沢井 雅彦くん
- 三級 河原 純一くん
- 原 智恵美さん
- 園原理恵子さん
- 水野 竹男くん
- 玉置 伸子さん
- 佐々木麻衣さん
- 木下 貴子さん
- 原 晃子さん
- 酒井 謙晃くん
- 米沢 郁恵さん
- 井原美佐子さん
- 原田 忍くん
- 古川有希美さん
- 井原みち代さん
- 井原みち代さん
- 佐々木集仁くん
- 今井 雅和くん
- 木下 耕一くん
- 七級 今井雅和くんは、満点合格でした。次回の検定試験は、六月十日です。

財形制度普及促進事業
アンケートの結果について

阿智村商工会旅館飲食業協議会(31企業)では雇用安定を含めて、本年度標記事業を実施して参りました。事業推進の参考にと、アンケートをお願いしましたが、回収率100%で、既に実施している企業が39%あり、対象人数も104名ありました。

他の企業でもこうした制度を活用されるようお奨め致します。内容は下記の通りですが、詳しくは商工会へお問い合わせ下さい。



編集後記

△二十世紀も残すところ十年となった。景気もまづまづ順調に進んでいる。二十世紀最後の午歳を迎え、何とか躍進の年にしたい。

△尚商工会では一月十二日、行政・産業界の皆さんを御願ひして、商工観光懇談会を開催、一九九〇年代の商工観光事業ビジョン造りの検討を行った。基調講演の中で県連風間常務は、一九九〇年代は心の時代、心の通ったサービス相手の心に満足を与える仕事・人材・情報のネットワーク形式が大切。ハード面では園原インターへのアクセス道路整備等を指摘された。

△黒柳村長さんが、連続五期無投票当選された。衷心よりお祝申し上げると共に、伸びゆく阿智村の健全な発展にご尽力をお願いする次第である。△続いて保革逆転、消費税問題・みそぎ選挙と話題の多かった衆議院議員選挙も、自民党の圧勝、社会党の大躍進で二大政党化の様相を呈してきた。心を新に庶民の幸せを念頭において国政を担っていた